

現代倫理道德研究会（発表要旨）平成 30 年 5 月 23 日

## 地方の生涯学習活動の視点から見た研究センターの役割

研究センター事務室

事務長 楠 伸次

私が、研究所勤務 30 年の内、20 年間に地方の生涯学習の各センター（旧岡山生涯学習センター、旧谷川生涯学習センター、中日本生涯学習センター）で勤務する中で、地方の生涯学習活動の中で、気づいたこと、学んだことを具体的な例を上げてお伝えした。

モラロジー研究所が現在抱える、モラロジー維持会員の高齢化、財政面の具体的データをもとに、課題を提示した。そして、社会構造や社会が求める精神的なものが変化しつつある現在、廣池千九郎が打ち出したモラロジーの不変的価値を昭和初期の文章のまま提供するのではなく、現代社会が求めているニーズに合わせ、相手の目線に合わせて、「分かりやすく」お伝えすることが、公益性にもつながっていく。

そして、研究員として①廣池千九郎の原典を研究し、より普遍的価値を追及していく。②廣池千九郎の普遍的価値を現代のニーズに合わせ、現代倫理道德の視点からわかりやすく提示する。③各自の専門分野をより深め、研究者として国内外の学会や研究者とのネットワークと研究をふかめていくことが役割であり、研究員への期待でもある。